

配慮の視点	生態系の多様性への配慮	配慮項目	生き物の生息・生育空間となる多様な自然とそのつながりの保全・創出
配慮事項	豊かな土壌の保全・回復・創出		
配慮事例	既存の表土の保全		
内容	<p align="center">現地表土の埋め戻しによる農地との連続性の確保</p>		
	<p>【解説】 河川に生息する生物は、河川だけでなく、周辺環境（水田、湖沼など）との連続性を確保することで、生息空間の拡大を図ることができる。</p>		
	<p>【具体的な工法・配慮事項】 表土の復元時には、締め固めず空気を含んだ形を保持し、植生の復元を促す工夫をしている。</p> <p>【事例1】</p>		
	<p>【場所】 兵庫県 鎌谷川</p> <p>【環境配慮の内容と方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地表土を緩傾斜法面に戻して植生の復元を図り、農地との連続性の確保に努めた。 ・堤防として必要な断面は所定の方法で締め固め、法面上に現地表土を撒いた。 		
<p align="center">施工直後</p> 	<p align="center">施工後9ヶ月</p> 		
<p>出典:1</p> <p>留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工後は生物調査を継続的に行い、問題があった場合はその原因を予測し、問題解決を行う、順応的管理を行っていきます。 			
参考資料	1 「ひょうご・人と自然の川づくり事例集 2011 生態系に配慮したひょうごの川」兵庫県県土整備部土木局河川整備課河川計画室		